

甑島紀行(1)

事務局長 池田良穂

40年ぶりに鹿児島の甑島(こしきじま)に行ってきました。目的は三戸岡氏デザインの高速旅客船「高速船甑島」に乗船するのが大きな目的でしたが、在来型フェリーにも乗船し、島で1泊してみました。

甑島は、鹿児島の薩摩半島の西の海上に浮かぶ3つの島からなる列島で、北から上甑島、中甑島、下甑島の3つの島からなります。かつては串木野港からフェリーと高速船がでていましたが、今は串木野からはフェリー、川内(せんだい)から高速船が運航されています。運航するのは甑島商船です。

高速船の乗り場が川内港に移ったのは、甑島が川内市なのと、九州新幹線が川内市に停車するため、交通の便を考えてのことのようです。串木野港と川内港の距離は、車で30分程度でした。

さて、鹿児島空港に降り立って、レンタカーでまずは串木野港に向かいました。「フェリーニューコしき」は、串木野港から毎日2往復しており、夜は下甑島の長浜港に停泊しています。朝の7時半に長浜港をでて、下甑島の北端の鹿島港、上甑島の里港に寄港して、串木野港には10時45分の到着です。まずは、串木野港で同船の入港シーンを撮影して、乗船しました。

帰りには高速船に乗るので、車は串木野港の無料駐車場にとめておいて乗船。船内にはカップラーメンしかないとのことでしたので、ターミナルのお土産屋さんでさつま揚げとビールを買っておきました。船内は船首側に椅子席、ロビーを挟んで船尾側にカーペット敷きの大部屋があり、その後ろに露天のオープンデッキがあります。また一層上には2等指定席と、広いオープンデッキがあります。

11時20分に出港した船は、1時間15分で里港に、さらに45分で鹿島港、そして35分の航海で下甑島の長浜港に14時20分に到着しました。

里港から長浜港までは、列島に沿うように南下する航海で、いろいろな形状・模様・色の断崖絶壁が続き、見飽きることのない素晴らしい航海でした。

長浜港を見下ろす高台にあるホテルをとりましたが、部屋はシンプルだけと近代的で、夕食、朝食ともに楽しめました。2食付きで10800円という価格もリーズナブル。民宿しかなかなかと覚悟をしていたのですが、意外に快適な島の時間を過ごすことができました。





串木野港に入港した「フェリーニューこしき」です。



船首から椅子席、ロビー、大部屋が配置されていました。



1層階段を上ると2等指定席。約1000円の追加料金でした。



暴露甲板は2層あり、下は天井があり椅子が配置してあります。上は広い甲板だけでした。



餌列島の東海岸に沿って南下する航海はなかなか素晴らしいものでした。



上餌島と中餌島はすでに橋で繋がっており、現在、中餌島と下餌島を繋ぐ橋が建設中でした。



下餌島の長浜港に到着です。



船はすぐに乗客を乗せて出港です。この便は串木野への直行便で、航海時間は1時間40分です。船旅としては、列島に沿って航海する3時間の船旅がお勧めです。